

正誤表 「デジタル音響信号処理入門 — Pythonによる自主演習」

書誌情報：日本音響学会編，小澤賢司著，音響入門シリーズ B-4，コロナ社 (2022). ISBN:978-4-339-01310-8

頁	行, 式番号	誤	正	記載日
12	2.3.1項 L 5	標本化周波数 f_s は $f_s > 2f$ とする必要があります。	標本化周波数 f_s を $f_s > 2f$ とすればよいのです。	2023/1/13
15	L 下から4	【重要】標本化定理を満たす条件：標本化周波数 f_s で正しく標本化できる周波数 f は, $f < f_s / 2$ を満たす f に限られる。	【重要】標本化定理を満たす条件：標本化周波数 f_s で正しく標本化できる成分の最高周波数を f とする信号は, $f < f_s / 2$ を満たす成分に限られる。	2023/1/13
26	L 1	$f_2 = 1732$ [Hz]	$f_2 = \sqrt{2} \times 500$ [Hz]	2023/1/13
58	L 下から2	インプット3.4の変数f0	インプット4.3の変数f0	2022/11/10
137	L 下から5	phaseData[int(fftPoints/2)-1: 0 : -1]	phaseData [int(fftPoints/2)-1: 0 : -1]	2023/1/13